

《Lesson 2》 疑問詞 + to 不定詞：否定文・疑問文・副詞の足し方

「疑問詞 + to不定詞」を否定文や疑問文で使う方法と、副詞の足し方は

文の種類 (be動詞の文、一般動詞の文、助動詞の文など) のルールをそのまま使います。

<例1> They were told where to go. → be動詞の文 (彼らはどこに行くべきか伝えられた)

【否定文】 There **were not (weren't)** told where to go.
(彼らはどこに行くべきか伝えられませんでした)

【疑問文】 **Were** they told where to go?
(彼らはどこに行くべきか伝えられたのですか?)

【+副詞】 There were **never** told where to go.
(彼らはどこに行くべきなのか伝えられることはありませんでした)

<例2> He remembers what to do next. → 一般動詞の文 (彼は何をするべきか覚えています)

【否定文】 He **does not (doesn't)** remember what to do next.
(彼は次に何をすべきか覚えていません)

【疑問文】 **Does** he remember what to do next?
(彼は次に何をすべきか覚えているのですか?)

【+副詞】 He **still** remembers what to do next.
(彼は次に何をすべきかまだ覚えています)

<例3> She will tell us when to start. → 助動詞の文 (彼女は私たちにいつ始めるのか伝えるでしょう)

【否定文】 She **will not (won't)** tell us when to start.
(彼女は私たちにいつ始めるのか伝えないでしょう)

【疑問文】 **Will** she tell us when to start?
(彼女は私たちにいつ始めるのか伝える予定ですか?)

【+副詞】 She will **also** tell us when to start.
(彼女は私たちにいつ始めるのかも伝えるでしょう)